

「光免疫療法」というをご存知でしょうか？ がんに対する治療法として近年注目を集めているもので、日本においてもここ数カ月で話題にのぼることが多くなりました。仕組みは、がん細胞にだけ特異的に結びつく抗体を患者に注射し、抗体ががん細胞に結合したところで近赤外線を当てるといったもの。するとたちまちがん細胞が破壊され、破壊された抗原は免疫細胞によって処分されます。この療法の凄いところは、人体に影響の少ない抗体やテレビのリモコンなどで使用される近赤外線しか治療に使用されないこと。そのため副作用がほとんどなく、また抗がん剤のような毒性の蓄積もないため、繰り返し何回でも治療することが可能です。さらに破壊された抗原を処分した免疫細胞は、その情報を他の免疫細胞等へ伝えることで、なんと他の部位に転移したがんも攻撃してくれるとのこと。残念ながら現在は臨床段階で、実用化にはあと数年かかるそうですが、現在国内の死亡原因1位であり、国民の半数が罹患するといわれるがんも、近い将来それほど怖い病気とはなくなる日が来るかもしれません。(S.S)

休日
日に財布をプライベートのカバンに移して外出し、戻し忘れて出勤した月曜日、あ、財布がない！
ということをこれまで何度も体験してきた自分にとっ

て、このガジェットは最高にありがたい！ 即日ネット注文しました。

NHKの朝のニュースで紹介されていたのですが、100円玉2枚くらいの厚み、大きさは100円玉1枚半くらいのプラスチック製のタグで、紛失したくない大切なものに付けておくことで、それが手元から離れるとスマホに通知が届き、紛失した場所も地図で確認できるという優れものです。スマホとはBluetoothで接続し、目視で20~30mくらい離れると通知が来ます。

最近では便利なものが増えたなぁと興味をもち購入前に検索してみたところ、意外にいろいろなメーカーから似たようなガジェットが出ていたのですが、完成度が高そうだったのは、やはり最初にテレビで見た製品でした。単なる紛失防止タグではなく、交番や街中のスポットに専用アンテナを設置して、地域の小学生や街を徘徊する認知症の方、愛犬などの見守りにも使えるようなサービス展開や、見ず知らずのユーザーのアプリ&スマホをアンテナ代わりとし、紛失物とすれ違ふとその情報をサーバに送り、持ち主が紛失位置を特定するのに役立てられるクラウドトラッキング機能などもあります。

クラウドファンディングで資金を集め、アイディアをどんどん膨らませてと、今どきのベンチャー企業はなかなかやるなと感心させられました。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

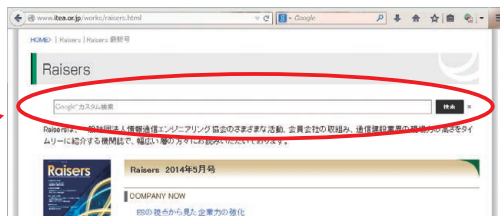
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第65巻第2号(通巻第723号) 平成29年3月5日印刷 平成29年3月10日発行

定価648円(本体価格600円) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

発行所 一般社団法人電気通信協会 〒163-1455 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー13F

Tel. (03) 5353-0184 Fax (03) 5353-0194

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

